

# 第3回 ナガセケンコー旗争奪大会

NAGASE  
KE



KO  
Corp.



(公財)日本少年野球連盟

## 期 間

2025年4月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)  
予備日14日(月)

## 会 場

八草グラウンド、いちい信金スポーツセンター  
名古屋旭丘ボーイズ専用グラウンド  
森林公園野球場

## 主 催

(公財)日本少年野球連盟 愛知県西支部

## 共 催

ナガセケンコー株式会社

## 後 援

愛知県 株式会社あいち銀行  
(公財)日本少年野球連盟

# 第3回 ナガセケンコー旗争奪大会 式次第

## 開 会 式

行 わ な い

## 表 彰 式

2025年4月13日（日）15時30分 ～ 森林公園第1野球場

1. 役員、審判員、監督、コーチ整列
2. 選手 整 列
3. 表 彰 ・ 記 念 品 授 与
4. 選手、役員、審判員、監督、コーチ退場

## 第3回ナガセケンコー旗争奪大会役員名簿

### 《大会会長》

愛知県西支部支部長 荒川 達哉

### 《大会副会長》

ナガセケンコー株式会社  
代表取締役社長 星 久美

ナガセケンコー株式会社  
営業部長 城島 俊洋

### 《大会相談役》

愛知県西支部支部特別相談役 渡会 武則

### 《大会運営委員長》

愛知県西支部企画運営部長 山岸 昌弘

愛知県西支部企画運営副部長 窪園 三郎

愛知県西支部企画運営副部長 小林 正俊

### 《大会運営副委員長》

愛知県西支部行事委員長 玉置 正樹

愛知県西支部行事副委員長 澤中 涉

愛知県西支部行事副委員長 前島 康典

### 《大会運営委員》

愛知小牧ボーイズ代表 服部 誠

尾張ボーイズ代表 高木 哲也

愛知江南ボーイズ代表 住藤 重光

愛知長久手ボーイズ代表 小林 正俊

### 《大会審査指導部長》

愛知県西支部審査指導部長 柴田 昭二

### 《大会審査指導副部長》

愛知県西支部審査指導副部長 林 日出夫

### 《大会顧問》

日本少年野球連盟名誉会長 惣田 敏和

日本少年野球連盟会長 大冨 肇

日本少年野球連盟副会長 工藤 眞一

日本少年野球連盟理事 坂野 晃嗣

中日本プロック長

日本少年野球連盟理事 杉浦 眞一

愛知県西支部担当

### 《大会総務部長》

愛知県西支部総務部長 中村 直人

### 《大会事務局長》

愛知県西支部事務局長 中村 直人

### 《大会副事務局長》

愛知県西支部副事務局長 澤中 涉

### 《大会広報委員長》

愛知県西支部広報委員長 池田 一成

### 《大会広報副委員長》

愛知県西支部広報副委員長 平木 雅之

### 《大会会計部長》

愛知県西支部会計部長 牧野 義人

### 《大会会計副部長》

愛知県西支部会計副部長 林 透

### 《大会会計監査》

愛知県西支部会計監査 大迫 英紀

### 《大会審判長》

愛知県西支部審判長 大竹 英樹

### 《大会副審判長》

愛知県西支部副審判長 小笠原 崇人

愛知県西支部審判事務局 宮原 健治

### 《大会審判員》

愛知県西支部審判員諸氏

# 大会規定

- 1・チームの登録選手は 11 名以上 25 名以内（ベンチ入りは 20 名以内）とする。
  - 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
  - 3・審査証は今年度発行のものとする。
  - 4・オーダー表記入選手 20 名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。但し各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上ベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者が不在の場合、試合はできない。
  - 5・組み合わせの若番号が 1 塁側のベンチ、後番号が 3 塁側のベンチに入る。また、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
  - 6・監督（背番号 60）、コーチ（背番号 50）は選手と同じユニフォームを着用すること。
  - 7・試合開始時刻 60 分前までに試合場に到着し、直ちにオーダー表を 5 部、投球回数記録副表 3 部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出のうえ所定の審査を受けなければならない。
  - 8・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をトス（ジャンケン）で決める。
  - 9・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言できる。
  - 10・試合方法など
    - (1) 各試合は 7 回戦で行い、4 回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から 2 時間を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデットゲームとする。
    - (2) 4 回終了時（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4 回終了時）10 点差、5 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。
    - (3) 7 回終了後、あるいは試合開始から 2 時間を超えて同点の場合は、新しいイニングに入らず、**タイブレーク方式を実施する。**(競技に関する特別規則「**タイブレーク実施細則**」参照)
    - (4) 本大会の順位付けは以下のとおり定める。
      - (イ) 本大会は春季中日本大会の予選に位置付けられており、今年度は愛知県西支部の出場枠が 8 チームとなったため、以下に従って順位付けを行う。
        - ① 上位 4 チームは決勝と 3 位決定戦の試合の結果で確定する。
        - ② 5～8 位チームについては、大会 2 日目に敗れた 4 チームの得失点差を計算し、その値の大きい方を上位にする。  
なお、得失点差が同じ場合、「失点が少ない方」、「得点が多い方」、それでも決まらない場合は「ジャンケン」の順で決める。
      - (ロ) **ダイナソーカップ出場チームを 2 チーム決める必要があるため、9 位以降のチームの中から同様に順位づけを行い、9 位と 10 位を出場チームとする。**
  - 11・(1) 中学生の部投手の投球数は、1 日最大 80 球とし、連続 2 日間で 120 球以内とする。  
連続する 2 日間で 80 球を超えた場合は、3 日目は投球を禁止する。また 3 連投（連続する 3 日間）する場合は、1 日の投球数を 40 球以内とし 4 連投（連続する 4 日間）は禁止する。連続する 2 日間で 80 球を超えた投手、並びに 3 連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。ダブルヘッダーの場合で、2 試合に登板した場合は、連続 2 日間投球したとする。また、1 試合のみ投球した場合は、1 日の投球とする。
  - (2) 打席の途中で制限数に到達した場合は、当該打者の打席が終了するまでは投球を認める。その時制限数を超えた投球数はカウントしない。
  - (3) ボークは投球数としない。ノーゲームになった試合も投球数にカウントする。申告敬遠までの当該打者への投球数はカウントする。その他は連盟本部発行の「投球数制限ガイドライン」に基づく。
  - (4) 日程の変更（地区大会を含む）等で前大会と連続試合になる場合があるので、すべてのチームは「直前大会参加状況報告書」次大会の最初の試合日に、次大会主催者宛に提出しなければならない。
- 12・(1) 監督またはコーチの指示、伝達は 1 試合で攻撃 2 回と守備 2 回の計 4 回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それ

それぞれ 1 回の指示、伝達を認める(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない)。

- (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が 3 回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
- (3) 内野手が 2 人以上投手のところに行った時も 1 回に数える。
- (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30 秒以内」とする。

13・1 イニングで同一の投手に対して指示、伝達が 2 回目となれば、自動的に投手の交代となる。

その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。

ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。

14・審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。

15・監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと(ベンチからは駆け足で)。

16・2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。

17・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。

18・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すこと、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合の迅速な進行の妨げになるため禁止する。

19・各チームは同色のヘルメット 7 個以上、捕手の規定防具(マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ) 2 組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。

20・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等使用する道具はパートナー企業のものに限る。

21・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること【SG マーク必須】

22・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。

23・ベンチ内でのスマホ等携帯電話の使用を禁止する。

24・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。

25・試合前のシートノックは原則として 5 分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

26・守備側のチームの監督は球審に敬遠の意思を伝えると投手が投球することなく対戦打者を四球にすることができる(申告敬遠)。

27・各チームは選手審査時に AED 所持の確認を受けること。

AED には有効期限があり、各チームは有効期限に留意して常に正常作動することを確認願います。

28・球場責任者の判断により、試合時間内で 2 回・4 回・6 回裏終了時に適宜インターバルをとることができる。

《参考》

野球規則 7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってホームチームが同点か又はリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイプブレイク実施細則》

(1) 特別規則

(イ) 中学生の部は 7 回あるいは試合開始から 2 時間を超えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しい時は以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。

(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。

(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。

(ニ) この場合の代打および代走は認められる。

(2) チームおよび個人の記録

チームおよび個人の記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

安全と安心の目印

SG マーク



(イ) 投手記録

- ・規定により出塁した 3 走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打・無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した 3 走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した 3 走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録とする。

## 中学生投手の投球制限ガイドライン 2022年版

### レギュラーの部・ジュニアの部 大会

中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- ① 1日最大**80球**とし、連続する2日間で**120球**以内とする。  
連続する2日間で**80球**を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。  
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を**40球**以内とし  
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日**80球**以内とし、翌日投球を休めば3日目は**80球**の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の  
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で**80球**を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手  
としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数としない。
- ⑥ 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。
- ⑦ 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。

### 1年生大会

1年生大会の試合での登板は以下の通り制限する。

- ① 1日最大**70球**とし、連続する2日間で**105球**以内とする。  
連続する2日間で**70球**を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。  
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を**35球**以内とし  
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日**70球**投球後、翌日投球を休めば3日目**70球**の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の  
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で**70球**を超えた投手、並びに3連投した投手は、  
翌日は捕手としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数にしない。
- ⑥ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

### 共通事項

ダブルハッターの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。

また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

## ◎投球制限ガイドラインの補足説明

### (1) ③について

打者の途中で制限が来た場合とは、投球日における可能投球数の事である。

中学レギュラーの部を例にすると、初日に於いては 80 球を超えた場合であり、また、初日 68 球投げた連投 2 日目であれば、2 日目の可能投球数 52 球を超えた最後の打者に適用される。

投手に 3 連投を予定していた場合には、初日、2 日目に 40 球を超えると 3 日目は投げることができない。初日、2 日目に於いて打者の途中であっても 40 球投げた時点で交代しなければ、3 連投できない。41 球投げれば 3 連投できない。(打者の途中での投手の交代は制限していない)

### (2) ダブルヘッダーについて

ダブルヘッダーの試合は、その日の第 1 試合、第 2 試合どちらかで投げれば翌日(前日)の試合の連続扱いとする。(片方の試合に登板しなくとも休みとはしない)

両方の試合に投げた場合は、1 日の最大投球数 80 球(中学レギュラー)で連続の試合で投げたこととなり、翌日投げる場合、また前日投げていた場合は、3 連投の扱いとなり、1 試合 40 球を超えていると投げられない。

## 新型コロナウイルス等の感染症対策及び健康管理について(新ガイドライン)

### 【本ガイドラインの目的】

新型コロナウイルスは、昨年5月8日に2類から5類へ移行されて1年が経過し、この間、感染拡大期はあったものの、大きな被害はなく沈静化してきたといえる。

しかし、未だにコロナ罹患者にブレインフォグ(極度のうつ症状)等の後遺症に悩まされている方や依然として高齢者や基礎疾患を持っている方にとっては、脅威のウイルスであることには変わらない。

今後とも大規模な新興感染症が起こりうるため、今回改めて、新型コロナウイルス、インフルエンザ等を含めた幅広い日常的な感染症対策をとり、子どもたちの健康管理を行うことを目的とした本ガイドラインに改訂を行った。なお、このガイドラインに記載している「感染」とは、上記の新型コロナウイルス等感染症に感染した場合を指す。

当連盟として、子どもたちやその家族が安心して野球に取り組める環境を提供する責務から、本ガイドラインを基本として感染症対策に当たっていくこととする。

## 1.活動参加に際しての健康管理について

### (1)日常的な健康管理

①当連盟に参加する全ての関係者(保護者等含む)は、当日の体温を測り、熱・風邪症状等の体調不良が見られた場合は、活動に参加せず、欠席すること。

②チーム代表は、社会の感染状況やチーム近辺での感染流行について把握し、選手や指導者を含めたチーム内の健康管理に努め、必要な時にはチーム活動の休止等の措置がとれる管理体制を確立すること。

③食事前等、石鹸等による小まめな手洗い、消毒をすること。

④各チームは、保健衛生用品として体温計、石鹸、洗剤、アルコール等を常備しておくこと。

⑤濃厚接触者の定義はなくなったが、仲の良い友達、家族等同居者が感染した場合は、チーム活動が屋内やベンチ等の密になる場合は、当該選手等に対しマスク着用を勧めるなど代表が適宜判断すること。

### (2)感染拡大期等の予防対策

①チーム活動当日は、チーム内全ての関係者に発熱や咽頭痛・咳などの有症状者がいないか等の健康管理を徹底し、有症状者が判明した時点で直ちに当該有症状者を自宅に帰す等の措置をとり、受診を勧めること。

- ②バス及び自家用車の相乗り等の移動時には、常時換気を行い、出来ればマスク着用を推奨する。
- ③宿舍内は換気をこまめに行うこと。感染が疑われる場合等はチームとしてマスク着用について適宜判断すること。

## 2.感染者の取り扱い等について

### (1)感染者の活動欠席期間について

学校保健法施行規則では、出席停止の期間の基準を「発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで」と規定しており、これを適用する。発症日の翌日起算。

(例)7月2日に発症、7/3が第1日目となり7/6が5日目にあたり、7/6の朝に軽快したとしたら、7/7の朝以降からチーム活動に復帰できる。7/5までに軽快していた場合は7/6から参加できる。なお、無症状者の「発症日」は検査のため検体を採取した日と規定されている。

### (2)チーム活動停止の検討について

①所属する選手が20名以上のチームは指導者含めてチーム人数の2割の感染者を出した場合、チーム活動の停止を検討し、停止する場合は2日間経って他に感染者が出ていないか確認し、健康管理の上、問題なければ活動を再開する等、停止期間については、停止の有無を含めてチーム代表が判断する。

②所属選手20名未満のチームは5名以上感染者が出た場合、上記の2-(2)-①適用する。

## 3.主催大会等の規則

### (1)通常時

大会時の規定はコロナ禍以前の現行の連盟規約、大会規定、大会運用細則等を適用する。

### (2)感染拡大期等

①感染拡大期等は、第1項-(2)「感染拡大期等の予防対策」を適用すると共に、大会審査時における選手の氏名等の声出しを中止するなど主催者が過去の経験と従前のガイドラインの対策を参考に社会の感染状況に合わせて、適用範囲を明確にし適宜判断する中で感染拡大の防止に努めること。

②大会欠場について、大会主催者は、第2項-(2)「チーム活動停止の検討について」の基準により、感染者が出た当該チームを欠場とさせることができる。

※感染拡大期とは、「第10波」等の「波」で象徴される社会での大流行期を指し、感染拡大期等は、チームにおいては、チーム内で複数人感染が判明したり、選手が通う学校で学年・学校閉鎖が起これ、放置するとチーム内での感染拡大が危惧される場合を指す。

2024.07.22

公益財団法人日本少年野球連盟

## 大会観戦時の注意事項

### 【撮影とSNS投稿に関して】

当連盟所属チームの選手・関係者を撮影されます際には、被写体となる方の肖像権にご配慮頂き、個人が特定されるような方法で撮影されないようにお願いします。また、撮影は手持ち撮影のみとし、三脚の使用や球場設置物へのカメラの固定は禁止いたします。

試合内容を SNS などで公表される際には、選手・関係者の肖像権及びプライバシーにご配慮いただき、これらの無断公表とならないようにお願いします。

### 【応援に関して】

球場利用上のルールにより、声、拍手以外の鳴り物の使用は禁止いたします。

以上

名古屋北東ボーイズ

代表	竹延 朋久
監督	牧田 勉
コーチ	富田 雄一
マネージャー	白馬 太郎
10	主将 中根 彪人 3年
0	西原 叶琉 3年
1	山本 凱翔 3年
2	長江 煌晟 2年
3	田川 正梧 2年
5	所 暖樹 3年
6	都築 玖琉 2年
7	小山 寛太 3年
8	岡島 琉成 2年
11	井村 龍了 3年
14	杉浦 嘉紀 2年
15	宮川 達也 2年
16	藤井 敬也 3年
17	清水 高輝 3年
22	高田 鍊侍 3年
25	伊藤 圭吾 2年
31	柴田 颯人 2年
34	伊藤 悠 2年
44	舟戸 創星 2年
51	中島 永翔 2年
77	山田 健人 2年

愛知津島ボーイズ

代表	山岸 昌弘
監督	国森 由剛
コーチ	角田 憲一
マネージャー	前田 卓哉
15	主将 横井 将大 3年
0	菊野 七煌 2年
1	浅井 悠真 3年
2	後藤 大牙 3年
4	竹島 愛惺 2年
5	山本 煌 2年
7	藤田 祐輔 3年
10	橋本 拓希 3年
12	前田 一徹 2年
13	奥村 鉄真 3年
14	大津 裕睦 3年
17	笠 創 3年
18	三木 一輝 2年
23	猪飼 泰生 2年
31	棚橋 竜冬 2年
33	安田 幸生 3年
34	近藤 大雅 2年
36	長澤 拓夢 3年
37	西脇 彪真 2年
39	齋木 富童 2年
45	林 大稀 3年
51	伴野 瞬輝 3年
55	佐藤 蒼真 3年
58	小林 一誠 2年
89	山田 航平 2年

愛知尾州ボーイズ

代表	内藤 邦将
監督	藤川 正樹
コーチ	橋倉 秀輝
マネージャー	筏井 知良
1	主将 丹羽 裕聖 3年
2	中久保 瑠生 3年
5	岡田 莉空 3年
9	青木 遼磨 3年
14	小川 銀士朗 3年
15	松原 昊河 3年
16	鷺見 颯介 3年
17	向島 守弘琉 3年
18	梅村 全 3年
20	光田 悠真 3年
25	平田 琉輝也 3年
30	中田 翔 3年
31	神谷 敬治郎 3年
35	梅津 直生 3年
40	板野 煌亮 3年
44	田嶋 心 3年
46	河野 遥馬 3年
47	丹羽 慶 3年
49	島田 琉雅 3年
51	林 和輝 3年
62	竹内 将馬 3年
66	中村 舜 3年
71	木村 大翔 3年
88	早坂 太良 3年
99	米津 湊 3年

愛知長久手ボーイズ

代表	小林 正俊
監督	赤間 大輝
コーチ	浅井 実
マネージャー	與語 英人
71	主将 岡田 雄翔 3年
0	山田 翼隼 2年
1	安藤 寛太 3年
2	平光 謙心 2年
6	牧 龍之介 3年
7	井上 航佑 2年
11	古川 竜也 2年
12	奥田 夢希斗 2年
16	田中 豪斗 3年
17	與語 秀太 3年
19	山北 琉偉 3年
21	荒木 智哉 3年
22	新藤 琉生 2年
23	中島 健生 2年
24	岩越 竜人 3年
25	堀口 柊太 2年
27	武田 仙 2年
34	安藤 聡汰 3年
35	山口 奏 3年
36	阪口 慶太郎 2年
41	栗賀 啓叶 3年
51	小出 涼介 3年
56	杉原 大河 3年
66	牛田 雄琉 2年
72	休石 隼翔 2年

春日井ボーイズ

代表	窪園 三郎
監督	澤野 肇
コーチ	飯島 洋一
マネージャー	坂下 隆一
31	主将 山下 久温 3年
30	山本 朔 2年
33	山田 珠生 3年
35	奥田 孝都 3年
37	山崎 新太 3年
39	山本 倭功 3年
42	鈴木 簾祐 3年
47	池本 聡生 3年
48	飯野 慈叡 3年
51	牛尾 優一朗 3年
53	平井 悠貴 3年
55	今井 陽介 3年
61	井上 洸惺 3年
66	西尾 和輝 3年
71	渡邊 勇人 3年
74	山本 楽久 2年
77	井上 謙心 2年
80	田中 瑛音 2年
85	神谷 彪斗 3年
88	澤野 晴 2年

尾張ボーイズ

代表	高木 哲也
監督	小林 俊哉
コーチ	松本 茂樹
マネージャー	後藤 久司
9	主将 阿南 大飛 3年
0	野田 虎太郎 3年
1	柴田 翔 2年
2	谷口 洋斗 2年
4	藤山 琥士郎 3年
5	黒太 来翔 2年
6	仲谷 庵慈 3年
7	和手 脩朗 2年
8	原田 峻矢 2年
10	片岡 貴太 2年
11	祖父江 進吾 2年
15	梶谷 悠斗 2年
17	伊藤 由翔 2年
18	今井 陽翔 3年
21	橋本 敢太 2年
23	橋本 賢吾 2年
25	岩田 新史 2年
28	大塚 楓也 2年
33	渡邊 廉 3年
39	大塚 咲弥 2年
42	佐野 陽斗 2年
55	虎澤 由翔 2年
85	鈴木 琥太郎 3年
88	東 大輔 3年
99	倉知 蓮旺 3年

愛知瀬戸ボーイズ

代表	大野 工太
監督	鈴木 正秀
コーチ	栗山 嘉孝
マネージャー	鈴木 佳奈
2	主将 荻原 大 3年
1	今井 稔 3年
3	宅間 隆之信 3年
4	吉橋 駈 3年
5	鈴木 優吾 3年
6	大岩 仁也 3年
7	酒井 伸梧 3年
8	山本 琉希亜 3年
9	片桐 彪人 3年
10	大前 賢生 3年
11	永田 星嵐 3年
12	白矢 晴紫 3年
13	高橋 翔雲 3年
14	鶺鴒 大獅 3年
15	本庄 琉純 3年
16	長尾 清音 2年
17	櫻井 昇吉 2年
18	藤田 敬介 2年
19	森 夏音 2年
20	宮島 巧 2年
21	磯貝 來希 2年
22	天野 敦貴 2年

愛知江南ボーイズ

代表	住藤 重光
監督	縄田 武志
コーチ	佐々 聖尚
マネージャー	丹羽 守史
2	主将 神戸 澄和 3年
1	元田 鳳貴 3年
3	中下 湧太 3年
4	木下 知哉 2年
5	多和田 夢叶 2年
6	三宅 孝平 3年
7	田中 朋綺 3年
8	横山 遥紀 2年
9	丹羽 陽己 3年
10	齊藤 海清 3年
11	大西 彩稀 3年
12	岩田 航 2年
13	佐藤 椋雅 2年
14	澤村 斗貴 2年
15	山内 隼 2年
16	山本 琥大 2年
17	脇坂 駿吾 2年
18	林 新一 2年
19	兼山 蒼天 2年

名古屋富士ボーイズ

代表	臼田 光宏
監督	岡部 寛司
コーチ	小林 正英
マネージャー	阪井 工真
25	主将 小林 大翔 3年
2	阪井 秀伍 3年
10	山口 聡介 3年
12	樋口 聡介 3年
14	蒲 幸樹 3年
16	伊藤 煌ノ介 3年
19	諸原 陽斗 3年
22	今村 悠吾 3年
26	岡部 秀五 3年
38	長谷川 蓮 3年
39	加藤 蓮 3年
46	金子 翔生 3年
56	竹森 日成 3年

名古屋旭丘ボーイズ

代表	澤中 渉
監督	虫賀 千修
コーチ	藤原 遼介
マネージャー	佐々木 敦司
23	主将 福永 真玖 3年
1	岡 大翔 2年
2	松本 皇雅 2年
6	水野 葵斗 3年
7	上田 陸人 2年
8	藤井 隆貴 2年
10	五島 耀太 2年
11	井上 将汰 2年
12	馬場 健 3年
14	高橋 京司 3年
15	長山 仁哉 2年
17	向川 翔悟 2年
18	茅場 誉 3年
19	大津 颯斗 3年
20	岡本 陵汰 3年
22	大城 克月 2年
24	新垣 来道 2年
26	谷口 圭 3年
31	鈴木 駿介 3年
33	山田 琉晴 3年
37	小林 一翔 2年
44	吉田 圭 2年
55	山田 樂 3年
99	成田 陽 2年

愛知小牧ボーイズ

代表	服部 誠
監督	水野 哲也
コーチ	木下 英二
マネージャー	岩切 利仁
41	主将 牧野 寛大 3年
1	大島 凜工 2年
2	桑原 蓮 2年
4	高橋 優元 3年
5	小穴 空翔 2年
8	高木 大夢 2年
9	森 脩登 3年
13	青山 恵生 3年
14	武石 晴道 3年
17	土井 琉之介 3年
19	薫田 蓮人 3年
23	廣瀬 海人 3年
24	佐橋 瑠按 3年
27	三井 大誠 2年
45	日比野 翼 2年
51	米田 樹 2年
77	田口 蓮輝 3年

愛知守山ボーイズ

代表	池田 一成
監督	鈴木 賢一
コーチ	田中 文康
マネージャー	伊藤 拓也
3	主将 飯島 晃誠 3年
0	前田 莉杏 3年
2	佐藤 徹成 2年
9	飯田 丈也 3年
11	菊川 淳平 2年
14	森田 智晴 3年
17	渡邊 瑛太 3年
19	梶田 和雅 3年
21	鈴木 颯太 3年
25	熊谷 蒼祐 3年
32	秋山 尊飛 2年
40	小幡 拓三 3年
44	藤吉 泰士 3年
46	岩月 翁志郎 3年
48	大川 大篤 3年
51	伊藤 篤史 3年
54	石原 瑠星 2年
66	市川 航介 2年
69	上村 勇翔 2年

東尾張ボーイズ

代表	前島康典
監督	山下浩一
コーチ	斎藤真一
マネージャー	佐々木志生
51	主将 武石真翔 3年
1	横田羽伸 2年
5	平川勢絆 2年
9	大川瀧 2年
49	加藤振之介 3年
52	李木翔 3年
53	山口陸翔 3年
54	柿白航汰 3年
55	伊藤永真 3年
56	角村和樹 3年
58	黒坂優太 3年
59	佐々木奏瑛 3年
61	武藤大知 3年
62	川合陸斗 3年
63	梅落侑太郎 3年
64	中野翔晴 3年
65	戸田陽理 3年
66	鎌田真叶 3年
67	加藤大翔 3年
68	先田晃庸 3年
69	小泉友陽 3年
70	高橋由光 3年

愛知木曾川ボーイズ

代表	大迫 英紀
監督	森 裕幸
コーチ	加納 敏秀
マネージャー	杉本 武嗣
77	主将 伊藤 光希 3年
0	檜垣 權斗 2年
1	澤 翔平 3年
3	石井 勇利 3年
6	伊藤 海璃 3年
8	宇佐見 桜世 3年
14	野田 昇大朗 2年
17	横山 泰千 2年
18	中山 裕貴 2年
22	奥村 隼人 3年
28	杉本 康太 3年
34	浅野 夏葵 3年
41	堀場 睦生 3年
44	大橋 渚斗 3年
42	壬生 晃広 3年
45	河合 将吾 3年
46	後藤 大賀 3年
49	青木 修人 3年
51	柿田 知宏 3年
73	今井 優月 3年

名古屋名東ボーイズ

代表	平木 雅之
監督	竹村 和久
コーチ	小野田 慶靖
マネージャー	永田 耕規
13	主将 松原 奏 3年
3	加藤 壱 3年
5	室橋 一成 2年
6	柄谷 月斗 2年
7	宮部 湊 2年
8	速水 大晴 2年
9	中川 拓海 2年
10	山本 陸翔 2年
11	山崎 亮太 2年
12	山元 希海 3年
16	安藤 颯良 2年
18	中目 大雅 3年
19	南 尚哲 2年
22	下笠 颯斗 3年
23	豊嶋 律絢 2年
25	加藤 壮次 2年
27	竹村 晃範 2年
31	田村 莉杏 3年
33	横田 海晴 2年
34	豊竹 湊 3年
42	小泉 怜巳 3年
43	菊田 陸翔 3年
55	鵜野 煌大 3年
56	大澤 一智 3年
66	丹波 桜介 3年

第 3 回 ナ ガ セ ケ ン コ ー 旗 争 奪 大 会

1 日 目 2025年4月5日 (土)

A 球場 ◎ 八草グランド  
 B 球場 いちい信金スポーツセンター  
 C 球場 愛知守山ボーイズ専用グラウンド

名古屋北東ボーイズ  
 愛知江南ボーイズ  
 愛知守山ボーイズ

開会式は開催なし

2 日 目 2025年4月6日 (日)

A 球場 ◎ 八草グランド  
 D 球場 名古屋旭丘ボーイズ専用グラウンド

名古屋北東ボーイズ  
 名古屋旭丘ボーイズ

3 日 目 2025年4月12日 (土)

A 球場 ◎ 八草グランド

名古屋北東ボーイズ

4 日 目 2024年4月13日 (日)

E 球場 ◎ 森林公園第1野球場  
 B 球場 いちい信金スポーツセンター

名古屋北東ボーイズ

予 備 日 2024年4月14日 (月)

A 球場 八草グランド

名古屋北東ボーイズ

中学生の部  
 支部

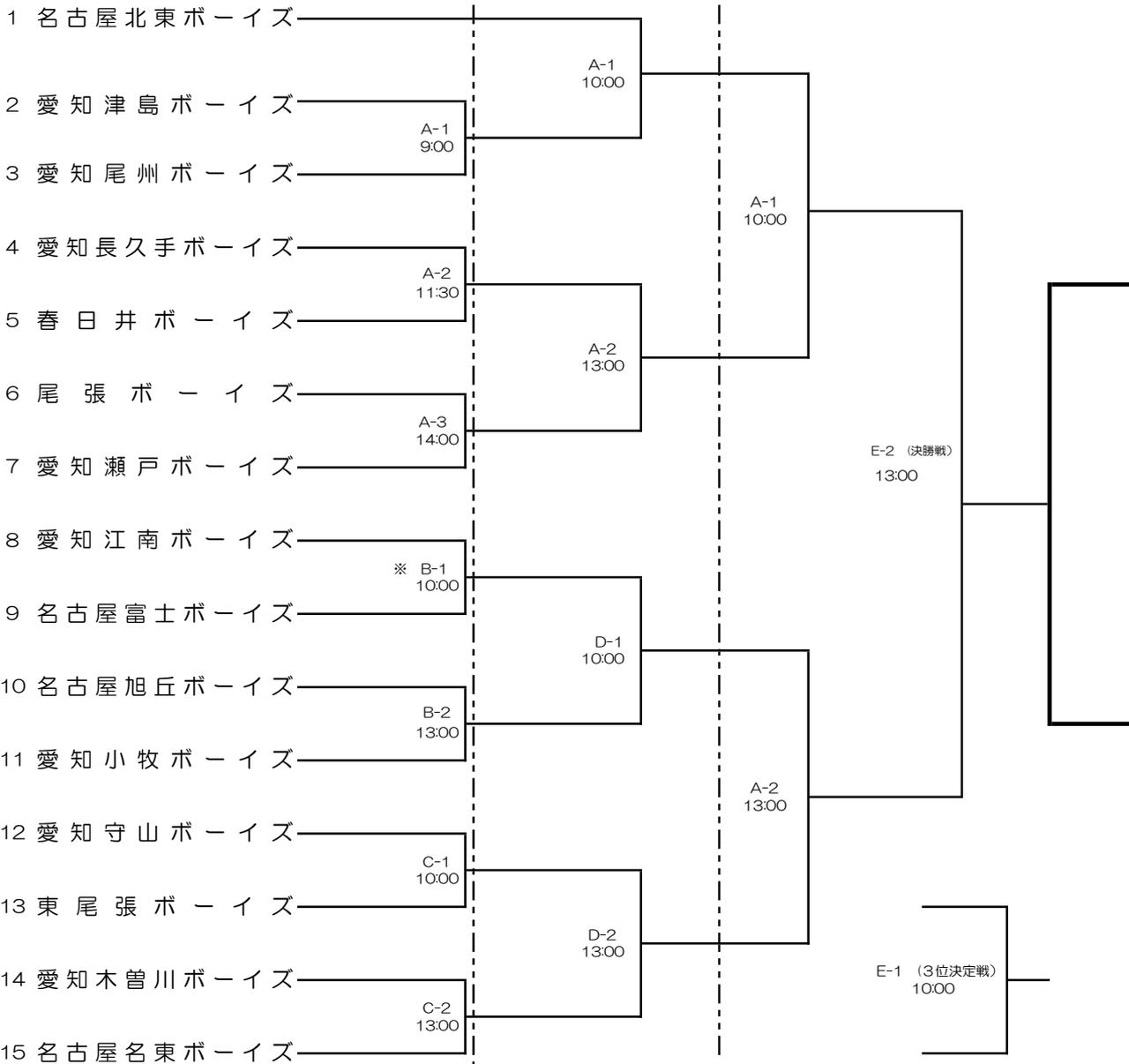
1日目

2日目

3日目

4日目

前年度優勝：愛知尾州ボーイズ



## ナガセケンコー旗争奪大会 歴代 優勝・準優勝チーム

第1回 (2023年)	中学生の部 小学生の部	優勝 愛知木曾川ボーイズ	準優勝 東尾張ボーイズ 開催なし
第2回 (2024年)	中学生の部 小学生の部	優勝 愛知尾州ボーイズ 優勝 稲沢中央ボーイズ	準優勝 愛知小牧ボーイズ 準優勝 名古屋東・岐阜合同ボーイズ
第3回 (2025年)	中学生の部 小学生の部	優勝	準優勝 開催なし



公益財団法人 日本少年野球連盟

# ボーイズリーグ

## 公認球



日本少年野球連盟

### ボーイズリーグ 公認球

記号：BOYS OFFICIAL

表皮：天然皮革（牛革）

縫い糸：綿

中間層：羊毛・綿

芯：コルク・ゴム

周囲：22.9cm～23.5cm

重量：141.7g～148.8g

原産国：中国

※オンネームは非対応となります



#### 試合球

硬式野球試合球  
MODEL10



#### 練習球

硬式野球練習球  
MODEL5 NL  
硬式野球練習球  
MODEL9 NL



#### マシン用

硬式野球練習球  
MODEL9 KSY  
硬式野球練習球  
MODEL9 KSR

**KE**  **KO**  
**BALL**